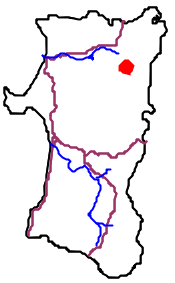
安全で安心できる地域づくり　雪に強く、安心で快適な地域づくり

事業名　一般国道２８２号　錦木（にしきぎ）バイパス（補助：事業主体　秋田県）
（秋田県鹿角（かづの）市）

事業着手：平成９年度　　**完成・供用の目標年度**：平成17年度全線完成供用予定

事業の必要性・事業の概要

秋田県



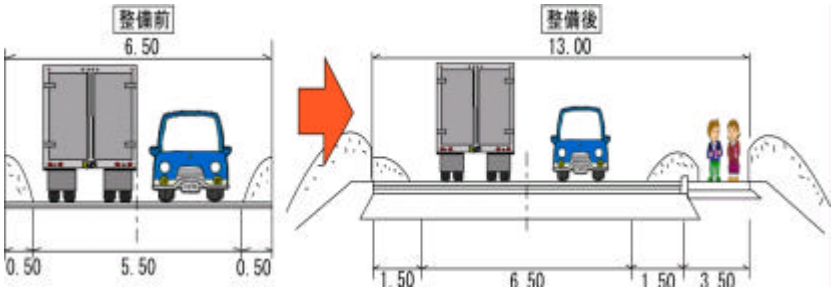
「事業の必要性」

一般国道282号は、岩手県盛岡市を起点とし、秋田県鹿角市を経て、青森県碇ヶ関村に至る延長約116kmの幹線道路です。

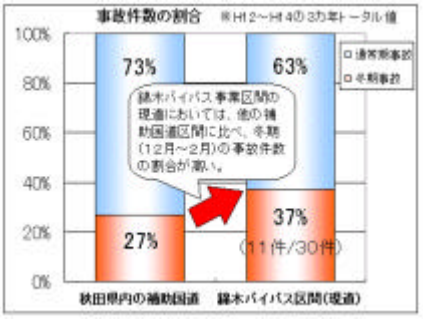
当該区間は、車道幅員が狭く(W=5.5m)、歩道も未整備なことから、除雪後の雪が車輌及び歩行者の通行に支障をきたしています。また、冬期の事故件数の割合も県内の他の補助国道区間に比べ高くなっており、冬期間の安全で円滑な交通の確保が必要となっています。

「事業の概要」

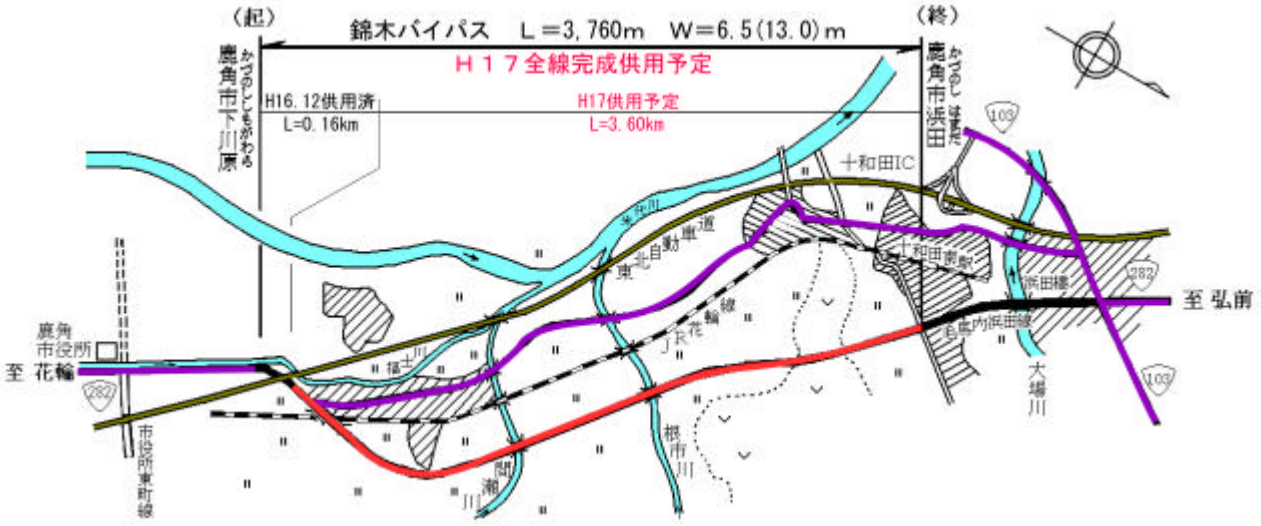
錦木バイパスは、冬期間の車道幅員を確保するため、車道の両側に堆雪幅を確保する他、上り線側に歩道を整備し、冬期間の安全で円滑な交通の確保を目的とした延長３．７６ｋｍのバイパス整備事業です。



○堆雪幅が確保され、快適な通行が可能になります。



○当該区間は冬期事故の割合が高い



平成１７年度事業費及び事業内容

○事業費：550百万円
○平成16年度にL=0．16kmを部分供用しており、平成17年度には残るL=3．6kmと合わせ、全線L=3．７６ｋｍを完成供用する予定です。

事　業　効　果

○堆雪幅及び歩道の整備により、冬期の通行空間が確保され、事故の減少や旅行速度の向上が期待されます。